

# 図書館の本棚から(一般)

2019年7・8月号 亀山市立図書館

## テーマ：器

### ●豆皿の本

ちょこんと佇む、三寸あまりの豆皿。その小さいフォルムの中には、作り手の思いから、使い手の希求まで、ぎゅっと凝縮されている。豆皿を愛する人たちの使い方や、豆皿スタイリング術、名店の豆皿使いなどを紹介。

### ●鹿児島睦の器の本 鹿児島睦

植物や動物をモチーフにした図案を施し、独自の世界観で器を生み出す陶芸家・鹿児島睦。彼の器に魅せられた、世界各地のコレクター20人が所有する器を公開する。ひとつずつ異なる約260枚を収録。

### ●和食器のきほん 浜裕子

飯椀(陶器・磁器)、土鍋、大皿、膳・折敷(漆器)、ガラス器…。きほんのアイテムから、使い方、揃え方、コーディネート例まで、食卓を演出するうえで知っておかなければならない、和食器の知識を丁寧に解説。

### ●世界のかわいいカップ&ソーサー 明石和美

ヨーロッパ名窯の逸品から、戦後アメリカのモダンデザインまで、世界のアンティーク、ヴィンテージのカップ&ソーサーをオールカラーで紹介。コラムやエッセイも収録する。

### ●うつわを愛する 祥見知生

一生もののうつわと、心豊かに生きる喜び-。国際的に活躍するうつわプロデューサーが日本の代表的うつわ作家25人を紹介。使い方や洗い方、収納など、うつわと上手に暮らすヒントも満載。

## その他

### ●陰陽師 女蛇ノ巻 夢枕獏

毎夜あらわれては、少納言の右手ばかりを噛む女の正体とは…。稀代の陰陽師・安倍晴明と、笛の名手・源博雅の名コンビが、都の怪異を解き明かす。

### ●おやつが好き 坂木司

おやつは甘い派? しょっぱい派? 和菓子の魅力、銀座の名店から量販店のスナックまで、「和菓子のアン」の著者が美味しく語り尽くす。単行本未収録の小説も併録。

### ●傑作はまだ 瀬尾まいこ

引きこもり作家の前に突然現れた初対面の息子。孤独に慣れ切った世間知らずな父と、近所付き合いも完璧にこなす息子の同居生活の行方は…。

### ●魔眼の匣の殺人 今村昌弘

その日、“魔眼の匣”を9人が訪れた。人里離れたその施設の主は、予言者と恐れられる老女だ。彼女は葉村譲と剣崎比留子をはじめとする来訪者に「あと2日のうちに、この地で4人死ぬ」と告げた…。

